

次号予告

特集 投資と金融のOR

多目的問題としての資本資産評価モデル
古川浩一, 中里宗敬(東工大)

擬似インデックス・ポートフォリオ
竹田 準(三洋経済研究所)

投資リスクと動的投資理論 浦谷 規(静岡県立大)

ファイナンスにおける最適停止問題
——オプション証券を中心に——
澤木勝茂(南山大), 田畑吉雄(大阪大)

生保の資産運用の新潮流 定森高之(第一生命)

連載講座

証券投資技法の基礎と概要(最終回)
石井吉文(ニッセイ基礎研究所)

日本オペレーションズ・リサーチ誌編集委員会

委員長	山田 善靖	東京理科大学
副委員長	日下 泰夫	東京都立商科短期大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	片山 隆仁	防衛庁
	川野幸三郎	東燃石油化学㈱
	城川 俊一	関東学園大学
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	丹羽 清	㈱日立製作所
	平林 隆一	東京理科大学
	町原 文明	日本電信電話㈱
	松本 康男	㈱三和総合研究所
	矢部 博	東京理科大学

編集後記 ●「昭和16年7月窪田内閣成立, 同16年11月15日対インドネシア開戦, 12月1日対米開戦, 昭和17年7月敗戦処理内閣組閣のため窪田内閣総辞職」と書いたらSFの世界のことかと思われるでしょうか。これは, 内閣総力戦研究所の平均年齢33歳の研究生で組織された模擬内閣が, 昭和17年7月からの40日余りにわたるシミュレーションを行なって得た結論です ●筆者は最近, 高度技術者集団であるはずの海軍がなぜ太平洋戦争にゴーサインを出したのかが気になって, 海軍リベラリストと言われる人たち(米内光政, 井上成美, 高木惣吉…)について書かれたものを読んでいます, 最後の意思決定のプロセスが納得ができません。戦争をすれば負けるとわかっていて, しかも終戦にいたるシナリオを描かないままの開戦…とっていたわけです。ところで, 前回の編集会議で日本のORの創世期のことに話がおよび, 後藤先生に伺った話を編集委員長から聞きました。OR第3世代に属している筆者は, こういう話は初めてで興味深

かったのですが, その中で昭和16年夏のシミュレーションの話が出てきて, 日本のORの「創世記」に出てくる人の中のかなりの人が手伝ったということでした。何か文章になったものは質問したら, 「昭和16年夏の敗戦! (猪瀬直樹著, 文芸春秋)」というドキュメンタリーが出ているとのことで, さっそく読んだことを上に書いたわけです。読んで面白い本です。ただし手伝ったというOR屋さんについては何も触られていません。当時をご存知のOR屋さんの筆によるきちんとした報告書というものはないのでしょうか ●なお, 模擬内閣が敗戦の結論を出したのは昭和16年8月21日, 第3次近衛内閣に報告したのは同8月27日, メモ魔といわれた東条陸軍大臣はまる1日にわたる報告を克明にメモしていたそうです。戦争も含めて大型プロジェクトにはORの手法はいろいろ使われているのですが, 最高意思決定機関はどの程度実際に理解して利用してくれているのでしょうかと考えさせられます。(平林隆一)

本誌に記載された記事についての著作権は, 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

昭和63年12月号 第33巻 第12号 通巻336号

代表者 森村 英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 山田 善靖

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9600円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337), 日経弘報社(563-2241)へ